

日伊親善
国際事業

留学支援
音楽育成

コンクール
(コンクール)開催

特別演奏会
セミナー
演奏会

■ イタリア世界遺産・音楽芸術国際フェスティバル

概要

国宝世界遺産、重要文化財、各都市、国立音楽院等との共催、提携し実現する、2017年3月イタリア世界遺産を舞台とした国際フェスティバル(演奏催事)。

- 一、世界遺産テアトロ・オリンピコ・重要文化財・国立音楽院・演奏会及び試演会
- 二、国立音楽院体験留学・国立音楽院学長(名誉教授)、教授らによるマスタークラス受講
- 三、イタリア各地、歴史遺産等・観光見学(歴史深い建造物・芸術にふれることにより、感性豊かで造詣深い音楽家としての成長を促す事が目的)

主たる舞台は、イタリア世界遺産国際フェスティバル・グランコンサートの開催会場である<テアトロ・オリンピコ>や、各地宮殿・国立音楽院演奏会等、数か所。

2009年に事業を開始して以降、日本イタリア協会とユネスコ、在伊・日本大使館、在日・イタリア大使館、ヨーロッパNATO、ミラノ市・フィレンツェ市・ヴィチエンツァ市、ヴェローナ市、イタリア四大国立音楽院(フィレンツェ・ヴェネツィア・ヴェローナ・ヴィチエンツァ)、ヴィチエンツァ市「テアトロ・オリンピコ」、フィレンツェ市「ヴェッキオ宮殿」「ダンテの家」、ミラノ市「クザーニ宮殿」、モンテッキオ市「コルデリーナ宮殿」、サンタマルゲリータ市「ドゥラッツォ宮殿」、ラパッロ市立歌劇場、京都・鷲峰山・高台寺など、イタリアを代表する主要各市、国立機関と本協会が共催・提携・協力して本年まで継続している。

テアトロ・オリンピコでの、イタリア世界遺産国際フェスティバル・グランコンサート。

現地・イタリアの巨匠でもなかなか立つことができない夢の舞台テアトロ・オリンピコの壮麗な舞台に於いて、当協会コンクール優秀者たちが堂々と演奏する。半世紀以上前の戦前、創始者中川牧三がイタリアの地に立った際に、近衛秀麿先生とともに「この素晴らしい音楽を共に日本に持ち帰ろう!」と興奮した日から幾星霜・・・彼らの夢と長年の努力と恩恵が、未来あふれる日本の音楽家らの世界を広げていく「今」に立ち会えることはなんと光栄なことであろうか。人種、時間、国籍という隔たりを、ぼんと超え、人と人をつないでくれるものが音楽である。奇跡的に紡いできたこの「絆」を途切れさせることなく、今日も小さな努力を積み重ねていく所存である。



▲本場の演奏に耳慣れたイタリア人が見守る中での演奏。
◀有名司会者を招聘してこの特別演奏会は、毎年注目されており、新聞や国営放送などのトップニュースとなる。
▼テアトロ・オリンピコ館長も全面的にこのフェスティバルを支援くださる。



▲世界最古・最も美しいと称されるテアトロ・オリンピコ。細部に至るまで彫刻と木造で造られており、見るものの心を奪う。音楽家憧れの舞台。



◀真田大勢。第1回でただ一人の最高位・特別優秀大賞<グランプレミオスペチャーレ>を受賞後、日本代表としてその演奏を披露。音楽に厳しいイタリア人観客から喝采を浴びた。それをきっかけに才能を開花させ、第2回には同賞で連覇、第4回では MusicArteの頂点となる「壮麗なる賞: グランプレミオマニフィカ」を受賞。イタリアでの演奏は、彼の成長に多大なる影響を与えた。

